写真右：岩間勉 神父さま

さぎの宮教会の神父さまが替わられたので、お言葉を頂きました。

「柔和なイエスのように」

さぎの宮教会主任司祭　　岩間　勉

かつては郷里の浜名湖弁天島周辺に舟を浮かべ、丸一日ウナギ、アサリ、蛤や小魚などをとっていた。しかし、次第に海よりも山に引かれるようになり、山岳会の仲間と南アルプスの山々によく出かけた。この4月から25年ぶりに浜松に住むことになった。11月末、6時間かけて竜頭山に登った。累積標高差1500mは体力の限界を知る。5年前、藤沢教会のボーイスカウトのナイトハイクに参加した。日没後、三浦半島南端の三崎口から西の鎌倉へ出て、海沿いに歩き続けて江の島へ、そして藤沢教会までの35kmを一緒に歩きました。途中、半島南端から上る神々しい日の出を見た。仮眠もなく、夢遊病者のように左右にふらつく子供に伴って、なんとか昼前に教会に辿り着くことができた。
リーダー達も伴走して、途中でその一人が体調不良で嘔吐した。しかし、彼は年少のメンバーを抱えながら歩き通した。イエスは「私は柔和で心低い者」と自己紹介している。
この柔和（「プラユス」）という言葉は、自らが重荷を負っていることにもかかわらず、重荷を担う他者を心配して支えていく力を持っている。自然災害や人災が降りかかる時も、行動する柔和な心は平和な社会の建設に貢献すると信じます。

歳末助け合い募金

12月16日（日）浜松駅周辺にて歳末助け合い募金を行いました。
天気は良かったものの風が冷たく、寒さを感じる中での活動になりました。

スカウトの一生懸命な呼びかけと皆さんの善意で
￥41,610の募金が集まりました。同日午後、リーダーとスカウト数名で中日新聞社へ納めに行きました。
（12月18日・火曜日の朝刊に記事掲載）